

様式第7号（第21条関係）

番 号  
令和5年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県佐賀市水ヶ江4丁目1-27  
団 体 名 特定非営利活動法人価値創造プラットフォーム  
代表者職・氏名 代表理事 石崎方規  
電 話 番 号 090-8623-7013

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和4年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 特定非営利活動法人 価値創造プラットフォーム
- 2 事業実施期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

エアコンサブスクリプション事業：一昨年度、多久市において富士通ゼネラルとともにエアコンのセンサーが人が在室時に活動している所をセンシングする事ができるか検証、今年度は同地区において、サブスクリプション という所有から利用へと促していき、環境負荷が極力かからない形で快適な空間づくりの支援をおこない、サブスクリプション でエアコンを佐賀県内一円で導入出来るよう仕組みを作り上げる。

子育てシェアエコ事業：平成29年度、佐賀県とともに子育てしやすい県の一助となるよう、シェアリングエコノミーを利用して、子供のあつまり合いや、ベビーシッターマッチング、家事支援のマッチングを行うことで、県民の子育ての負荷を軽減する事業を継続し、県民満足度を向上させる。

クラウドソーシング事業：平成28年度から多久市と基山町で実施している、在宅就業の仕組みを、広くしらしめ、実施したい方々に対し伴奏支援を行い、可処分所得を向上させる。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようなつながったのか

エアコンサブスク事業では、佐賀県多久市において34世帯34台を設置した。設置したことで、多久市内34世帯の生活環境が改善し、省エネルギーにも繋がった。

子育てシェアエコ事業では、香川県庁別館に保育園を設置し、保育園併設型クラウドソーシング事業を開始した。

クラウドソーシング事業を3拠点(佐賀・新潟糸魚川・香川)で行うことで、受注が拡大し、ワーカーの収入が増えた。

クラウドソーシングなどシェアリングエコノミー 事業を広げるため、SNSを中心としたマーケティング方法研究を行った。

佐賀県内商工会・商工会議所会員向けにSNSマーケティングセミナーを実施すべく商工会・商工会議所担当者と調整中。

②佐賀から広がった社会像(該当する活動のみ)

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)





(別記3) 寄附金活用額

<b>【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)</b>		<b>4,489,356</b>
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	4,489,356
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	3,997,797
	前年度控除額(県事務経費)還付分	491,559
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

<b>【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)</b>		<b>3,597,359</b>
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	2,372,001
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	1,225,358
	返礼品等の調達に係る費用	966,000
	返礼品等の送付に係る費用	259,358
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	0

<b>佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)</b>		<b>891,997</b>
-------------------------------------	--	----------------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://socialvalue.biz>